

【町長】

通告順	1	質問 議員	鵜野議員
質問 項目	企業誘致等推進事業の状況とサポート		
質問 内容	<p>今年度の企業誘致等推進事業は500万円ほどの予算で取り生まれ、5,000社の企業誘致アンケートを中心に、企業訪問、管理費などで、地道な活動と継続した取り組みがされています。成果はすぐに出るものではない事業だとも考えています。そこで、ここ数年間の取り組みが今どの様に進んでいる状況と、今の時代に即した新たな事業の取り組みについて聞きたい。</p> <p>1. 最近の成果、状況</p> <p>令和4年には「沼田町食料貯蔵流通基地構想と沼田版シリコンバレー構想」、「サテライトオフィス設置促進」、「企業立地促進条例補助金」などの事業（6600万円）の現在の状況と成果はどの様に考えるか。</p> <p>また、平成29年に企業立地が決まり、工業団地3区画の売買がされました。当初、東京オリンピック終了後、建設工事に着手し沼田工場では15～20名が雇用するとの事でしたが、8年が過ぎました。さらに、令和3年には町の施設「旧柔剣道場」を改築し新工場が開業しました。現在の状況と、これからの展開を聞きたい。</p> <p>2. 新たな事業への取り組み方</p> <p>5000社の意向調査のうち何社回答があり、訪問が出来た件数は、また何社の企業とオンライン面談を実施出来たのか。</p> <p>時代と、ともに企業が求めているものは変わり、どの様なことが求められ、町はこれから何をサポートできると考えるか聞きたい。</p>		

【町長】

<p>通告順</p>	<p>2</p>	<p>質問 議員</p>	<p>長野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>透析患者交通費助成と乗り合い介護タクシーの実現を</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>全国には、公共交通及び自らの運転では通院できず、タクシーで通院されている方がいます。沼田町も例外ではありません。現在の助成制度では、人工透析で町外へ通院されている方に、年間7万円の交通費が助成されています。他町より手厚い助成ではありますが、週3回、月12回、年140回超えとなり、送迎サービスの会社を利用したとしても110万円を超える大きな負担となっています。</p> <p>そのため、大きな設備の病院のある旭川市や札幌市などの転出も考えざるを得ないとの声も聞かれます。今こそ沼田町ならではの「シニアの住みたい町」にふさわしいロールモデルたる救済措置を考える時ではないでしょうか。町長の考えを聴きたい。</p> <p>1 人工透析患者の交通費のさらなる助成を</p> <p>(1)本町に在住し、じん肺機能障害等により身体障害者手帳の交付を受け、定期的に人工透析治療を受けている方に交通費のさらなる助成を。</p> <p>2 後期高齢者などが利用しやすい「乗り合い介護タクシー」への助成を 75歳以上などの通院乗り合いタクシーの実現により、利用者の交通費の負担減に繋がります。運転手の担い手確保も期待できる「乗り合い介護タクシー」への助成を検討してはどうか。</p> <p>(1) 介護タクシー運転手に必要な二種免許取得の助成を</p> <p>(2) 介護タクシー車両購入の助成を</p>		

【資料 1】 通院ボランティア通信 No82 社団法人 全国腎臓病協議会「はーとなび」より抜粋

●北海道勇払郡厚真町における、人工透析患者等送迎サービス事業について

・北海道厚真町の社会福祉法人厚真町社会福祉協議会では、厚真町からの委託を請けて、透析患者等の通院の為に週6回（月～土曜日）、リフト付ワゴン車両で、自宅から町外の病院までの送迎サービスを行っています。

対象者は人工透析療法を受けている町内在住の方で、利用料金は無料とのことです。



●岡山県総社市における、地域腎友会の通院対策への取り組み

・岡山県総社市では、予約型で乗合方式の公共の乗り物「総社市新生活交通・雪舟くん」が、4月1日から運行を開始しましたが、その後の経過状況や問題点などについて、岡山県腎臓病協議会の役員が行政に対して、実情の確認を行いました。「雪舟くん」は昨年7月から8月に、市内で65歳以上の方がいる2900世帯へ実施した、交通手段に関するアンケート調査を基に開始されたもので、ワンボックスカーを使い、無料の登録をした利用者をドア・ツー・ドアで、1人1乗車300円の料金で目的地へ送ります。運行は平日のみで、午前8時～午後4時台までの1時間ごとになっており、土・日、祝日、年末年始は運休します。

「雪舟くん」は、総社市とバス・タクシー事業者との共存共栄方式で行い、導入と同時に現行の路線バスの運行は、継続、減便、廃止の3つに分かれることになりました。利用者は1日に200人弱で、主に70歳以上の女性が、通院や買い物に利用しており、市内の商店街の活性化には繋がるものの、透析患者の利用は全体の5%程度となっています。また、利用者は原則、介助なしで乗り降りができることが条件であり、また、透析患者への特別な対応は現在のシステムでは難しい為、相談をしながら要望していく、とのことです。



全腎協としても通院対策委員会が中心となり、地元と連携し情報収集を中心に活動しています。総社市では高齢化が進んでおり、「雪舟くん」の利用困難者には、新たな制度「新福祉支援事業」により、助成券を交付する計画もある為、今後も要介護者の通院送迎を含めた岡山県内の状況と経過を「はーとなび」で報告していく予定です。

【町長】

<p>通告順</p>	<p>3</p>	<p>質問 議員</p>	<p>上野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>『秋のふれあい産業まつり』を『沼田町農業・産業大感謝祭』へ</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>沼田町では例年10月に「秋のふれあい産業まつり」が沼田町商工会・沼田町中山間地域直接支払制度推進協議会・北海道加工用トマト拡大協議会・深川地区消防組合沼田支所・沼田町駅未来協議会・沼田町の共催で行われています。</p> <p>しかし、例年同様の内容でマンネリ化の傾向です。</p> <p>沼田町には米、蕎麦、小豆大豆、小麦等の農業生産額が大きく沼田町の主力となっており、近年はトマトジュース、クラフトビール、ワイン、雪なごり等の飲料も親しまれており、農産物が本当に豊富な沼田町であります。</p> <p>しかし、一方では最近町民の方から、美味しい雪中米を食べたいけど中々手に入らないなどの声を聴くことがあります。</p> <p>昨年からの国内の米不足から米価が上昇し、農家の所得も上昇傾向にあり、本年も更なる農業所得の上昇が見込まれ、それに伴い町の税収も増加が見込まれます。</p> <p>そこで、沼田町民に沼田町で生産される、雪中米や新そばの試食や特別販売、農産物の加工品を特別価格で還元し、クラフトビール等の飲料も楽しめる町民を対象とした『沼田町農業・産業大感謝祭』の開催を町内で本年実施する事について、町長の見解をお聞きします。</p> <p>以上、町長に質問致します。</p>		